



太宰府東小学校 40年目のスタートです!

4月13日(木)太宰府東小学校 第40回 入学式を挙行了いたしました。93名の新1年生を迎え、令和5年度の全児童数は433名となりました。子どもたちは、毎日、元気いっぱい学校生活を送っています。本年度の教職員40名(支援員さん、用務員さんを含む)で子どもたちの教育活動を行っていきます。

始業式の日にも、入学式の日にも子どもたちに太宰府東小学校がこれまで大切にしてきた「4つの宝」について話をしました。本校が大切にしている4つの宝とは、「挨拶」「もくもく掃除」「歌声」「思いやり」の4つです。始業式の日、子どもたちに次のように尋ねました。「4つの宝を大切にすると、何がいいのでしょうか?」しばらく、近くの子どもたちと考えてもらいました。当然、いろいろな子どもたちの考えが出てきたことでしょう。発表してもらった時間がなかったため、私の考えと比べながら、聞いてもらいました。次のように、話をしました。「例えば、掃除を考えてみましょう。掃除を一生懸命もくもく行くと、学校内がきれいになります。きれいになると、周りの人が過ごしやすくなります。気持ちよく過ごすことができます。しかし、掃除を一生懸命すると周りの人だけが大切にされるのでしょうか。掃除を一生懸命すると、自分の気持ちがすっきりします。何かに集中すると、脳の働きが活性化され、気持ちが切り替わるのです。仕事をやり遂げると、自分も嬉しくなります。これは、自分のことを大切にすることにつながると私は思います。これから、4つの宝を大切にすることで、自分も周りの人も大切にすることのできる学校をみんなで協力して作っていきましょう。」こんな話です。子どもたちと教職員全員で協力して、「4つの宝」磨きを行い、自分も周りの人も大切にすることのできる学校づくりを行っていきます。保護者の皆様、地域の皆様、これからもご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



↑ 6年2組の掃除の様子



↑ 6年1組の掃除の様子

地域の方へ挨拶をしましょう!



↑ 見守りの方に挨拶する様子

昨年度の学校評価を振り返ると、児童評価で「地域の方に進んで挨拶をしている」の評価が3.45、保護者評価で「お子さんは地域の方に挨拶をしている」の評価が3.32と他の項目に対して若干低い傾向が見られました。自由記述を見てみると、「地域の方に自分から進んで挨拶するのが恥ずかしい」「不審者問題もあるので、なかなか地域の方に自分から進んで挨拶することができない」といった声が聞かれました。確かに今の世の中、出会う人全てに挨拶をすることでの危険性も考えられます。そこで、ご家庭と子どもたちに提案です。まずは、自分の知っている近くの方、登下校の見守りをしてくださっている地域の方に挨拶をしましょう。そんな話をご家庭でしていただけないでしょうか。当然、

学級でも、学校全体でも積極的に学校でしている挨拶を地域の方へ広げていくことの大切さを伝えていきます。学校と家庭で同じ内容の話をしていただけることこそ、子どもたちの力につながることはありません。どうぞよろしくお願いいたします。このお便りで、まずは登下校の見守りをしてくださっている地域の方を紹介していきます。顔を覚えて、自分から進んで挨拶することのできるようにしていきたいと思います。学校で頑張っていることが、地域でも活かされることが本当の子どもたちの力となると思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

見守りの方を紹介します！

子どもたちに地域の見守りの方を覚えてもらいたく、少しずつ紹介していきます。



なかがき のぼる
↑ 中垣 登さんです。学校前の交差点で見守りをしてくださっています。



あべ けいじ
↑ 安部 啓治さんです。星ヶ丘区自治会長さんです。



なかづか かんじ
↑ 中塚 幹二さんです。子どもたちの様子を詳しく教えてくださいます。



まつだ ただみ
↑ 松田 忠美さんです。交通安全指導員もしてくださっています。

児童、及び保護者の皆さん、交通見守りをしてくださっている地域の方々へ進んで挨拶をしていきましょう。本校校区には、まだまだ登下校の安全見守りをしてくださっている方がいらっしゃいます。次の号でも紹介します。

<ティー・ブレイク> 私は、河野 美保（こうの みほ）と申します。昨年度、太宰府東小学校教頭として1年間お世話になりました。本年度から校長としてお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。校長室から見た子どもたちの様子、地域の皆様の様子などをお伝えします。ご一読をお願いします。



